

2 学期始業式 式辞

皆さんおはようございます。校長の愛川です。短い夏休みが終わり、2 学期が始まりました。新型コロナの影響は今後も続いています。今一度感染防止について、各自での確認をお願いします。また、最近コロナいじめが問題になっていますが、コロナ感染は誰のせいでもなく、誰もが感染する可能性があります。人を傷つけるような言動は厳に慎んでください。

さて、新学期を迎えるにあたって、皆さんにお話しておきたいことがあります。

今年も24時間のチャリティ番組が放映されました。見た人もたくさんいると思いますが、放送前から番組に対して批判的な意見が多数寄せられたそうで、その多くが「偽善」に関するものでした。

善人ぶる人のことを偽善者、悪人ぶる人のことを偽悪者と言います。

丸山真男という政治学者は「偽善のすすめ」という随筆のなかで、「偽善者は自分に悪があることを知っている。偽悪者は自分を善人だと思い込んでいる分たちが悪い。偽善を貫き通して、自分が善人だと騙し切るほどの偽善者になれば、善人と等しくなる」と語っています。番組の中でも歌手のさだまさしさんが「『偽善行為』って言われても、もともと偽善者だから。そうだよ。言うだけ言って何もしないやつよりは、偽善者でも人のためにやるやつのほうがいいじゃん」と話されていました。

募金やボランティア、チャリティ番組というと、どうしても偽善的なイメージがつきまといいますが、批判だけして何もしないよりは、批判されようが人のためになることをするほうがずっと建設的で、尊いことだと私は思います。

みなさんも、偽悪者になっていないか自分の言動を見つめ直してみま
しょう。